

初瀬街道を軸とした街道文化再生事業

紀伊半島交流会議伊勢街道分科会

実施目的

地域に住む人が、街道の歴史や昔の旅の文化を知ることにより、身近な宿場町の町並みや道標、常夜燈等の歴史的資産を掘り起こし、再評価することを目的とする。また、近年の健康志向から街道を歩く人は増加しており、広く情報を発信することで来訪者との交流の場づくりを通じて、地球の活性化に取り組む。

事業総額：
414,847円

補助金額：
400,000円

実施内容

- ・既存の三重県側と同じ様式で初瀬街道のウォーキングマップを制作する
- ・講座を開催し、伊勢街道の情報を広く発信する
- ・来訪者とのふれあいから地域を元気づけるウォーキングイベントの開催

<期間>

2024年4月1日～2025年1月31日

<場所>

桜井市及び宇陀市の初瀬街道沿い

<対象>

県民一般市民、伊勢街道に関心を持つ団体、個人

<スケジュール>

2024年5月20日 事業実施に向けた打ち合わせ会議 会員6名

6月7日 ウォーキングマップ制作のための現地調査及び写真撮影

7月18日 ウォーキングマップ制作(A5判・24頁カラー印刷・4000部) 7月24日

ウォーキングマップ活用会議 風景街道参加団体25名・桜井市

8月22日 ウォーキングマップ配布(三重県を含む関係市町)

9月7日 初瀬街道をテーマとした講座の開催とチラシ配布

参加者17名・スタッフ2名

10月20日 初瀬街道ウォークの催行 参加者9名・スタッフ5名

2025年1月15日 活動の記録及び報告書の作成

団体名：

紀伊半島交流会議
伊勢街道分科会

所在地：

宇陀市大宇陀
上新1925

代表者：

代表 裏 宗久

設立の目的：

伊勢街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢本街道と阿保越え伊勢街道(初瀬街道)を軸とした新たな交流を生み出すことを目的とする。

事業の様子



実施効果

- ・既存の三重県側と同じ様式で制作した初瀬街道のウォーキングマップは街道を通じたネットワークツールとして高く評価された。
- ・出前講座の参加者のうち3人がウォーキングイベントに参加。伊勢街道の情報を広く発信することができた。

寄附者からの声

初瀬街道ウォーキングマップの制作を始め大和と伊勢のネットワークづくり等、様々な活動ご苦労様です。今後も広く情報発信され街道に関心を持つ人々との交流にお取組下さい。

地元の芸能ゆかりの場所を巡る

子ども和体験 Nara いたい

実施目的

磯城郡の芸能から能楽に関係する場所をめぐり、各場所で様々な体験をすることでより地元の歴史や文化についての理解を深めることを目的とする。

また、能楽に関する場所のガイド案内を作成することで、よりたくさんの人に能楽に興味を持ってもらえればと思う。親子で能楽について見る・聞く・体験するということをしてもらい地元ゆかりの芸能を身近に感じてもらいたい。

実施内容

- ・田原本町よりバスで芸能の起源から能楽になるまでの場所をめぐり、各所で紙芝居・体験・クイズ等を行う。
- ・調理室にて芸能に関する巻き寿司づくり
- ・子ども能楽教室による能楽発表
- ・能楽師による実演
- ・お囃子の説明 ・お囃子、能面体験

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

多神社・村屋神社・補巖寺・面塚・なら歴史芸術文化村

<対象>

奈良県内外の子ども・大人

<スケジュール>

2024年	12月	チラシ作成・募集開始
		紙芝居映像を事前撮り
	12月21日	子ども能楽教室 練習
2025年	1月11日	イベント実施
	3月	パンフレット完成

事業の様子



実施効果

参加者から「実際に体験出来たことが楽しかった」「地元出身でも知らなかった事が多く、この機会に知ることが出来てよかった」等多数の意見をもらった。またパンフレットにより、芸術のはじまりから能楽を知るという新しい視点から奈良について多世代が知る機会になった。

事業総額：
404,248円

補助金額：
400,000円

団体名：

子ども和体験 Nara いたい

所在地：

奈良県磯城郡田原本町
秦庄284-1

代表者：

代表者 永田 瑞穂

設立の目的：

日本の文化・伝統を継承または復活し、郷土愛と共に次世代へと繋ぐため、教室、遊び、ワークショップなど、受け入れやすい形でつたえることを目的とする。

寄附者からの声

能楽発祥の地として次世代への伝統文化継承の為、弊社の寄附金を活用頂き有難う御座います。

今後も地域の歴史や能楽伝承に向けてのご活動継続、宜しくお願いします。

青山 9 丁目里山公園環境・保全事業

特定非営利活動法人 グリーンスポーツ奈良

実施目的

長年放置された里山公園を地域住民と共に里山を整備し、住民が集う“魅力ある場”づくりを目的とする。

実施内容

雑草が生え、枯れ木や倒れかけた木が散乱し、次の作業を実施した。

1. チェンソーで木の切断と木を集め整備作業
2. 落ち葉をほうき・ブロアーで集め、作成した木枠コンポスト(6基)に入れ、落ち葉を腐養化作業
3. 草刈り機で雑草刈り作業

<期間>

2024年4月1日～2025年2月26日

<場所>

奈良市青山自然緑地(9 丁目里山公園)Y 地区

<対象>

青山住民 1900世帯(4000 人)

<スケジュール>

2024年4月～2025年2月 枯れ木・枝の伐採と倒木切断作業、落ち葉集め、清掃 トレック
キングコース・散歩道づくり

2024年6月、10月、11月 草刈り実施

2024年11月 木枠コンポストづくり(6基)完成

2024年11月17日 自然体験イベント開催

事業総額：
419,899円

補助金額：
400,000円

団体名：

特定非営利活動法人
グリーンスポーツ奈良

所在地：

奈良市青山7丁目98

代表者：

理事長 吉田 征八郎

設立の目的：

地域住民に対して、スポーツの啓発普及、スポーツ大会・施設の管理運営、環境保全、遊休地活用に関する事業を行い、スポーツの振興及び子どもの健全育成、環境保全、地域の振興に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

- ① 雑草が生い茂った里山公園において、雑草を刈り、非常に明るくきれいになり散歩道も歩きやすくなったと喜ばれていた。
- ② 落ち葉は、作成した木枠コンポスト(6基)に入れ、腐葉土づくりに活かし、リサイクルしストッブ温暖化に寄与している。
- ③ 倒木・枯れ木集め作業を行い、処分(第1回)は奈良市に依頼。第2回処分は予算の関係上処分はまだの状態となっています。

寄附者からの声

里山の環境整備、保全活動に「古都なら WAON」の寄附金を活用頂き有難う御座います。

里山は手入れを怠れば直ぐ荒廃します。今後も活動のご継続、宜しく願います。

中原の里

実施目的

五條市大塔町中原地区を都市部に住む子どもやその家族に五條市大塔町中原集落の豊かな自然や伝統行事に触れてもらい、自分たちの田舎のように感じてもらうことで、山間部にある限界集落の維持、伝統文化の保全を行う。また、それをきっかけに今後も都市部に住む子どもたち家族に豊かな自然環境の中で野外活動や伝統文化に触れる経験を継続的に行うことができる仕組みを構築していく。

事業総額：
115,644円

補助金額：
100,000円

実施内容

4月：長寿桜のお花見、5月：八幡祭り、7月：集落清掃活動、9月 八朔祭り

<期間>

2024年4月1日～2024年10月31日

<場所>

奈良県五條市大塔町中原集落内

<対象>

豊かな自然や伝統行事に触れることが少ない都市部に住む子どもとその家族

<スケジュール>

2024年4月7日	長寿桜花見準備打ち合わせ
4月14日	長寿桜の花見開催
4月28日	八幡神社清掃、お祭り打ち合わせ
5月3日	八幡祭り
7月28日	集落清掃活動
8月24日	八朔祭りの準備（安楽寺の清掃）、打ち合わせ
9月1日	八朔祭り
10月13日	活動振り返り、反省会

団体名：中原の里

所在地：

奈良県五條市大塔町
中原311
(中原集会所内)

代表者：

会長 山本 まゆみ

設立の目的：

会員相互の扶助、並びに協力により五條市大塔町及び中原集落、その周辺集落の持続可能な地域づくりに努めることを目的とする。

事業の様子



実施効果

参加した子どもたちは、伝統行事に触れることができ、人間関係が希薄になる現代社会において貴重な、集落の人たちとの交流を通じて楽しむことができた。この事業をきっかけに子どもたちが毎年のように集落を訪れるようになってもらいたい。そして、地元の人たちとの交流も継続して行うことができれば、地域活性にも寄与できるのではないかと思う。今後も継続的に行っていききたいと思う。

ひとこと

中原集落の伝統行事を通じて、都市部の子どもたちとの交流を深める貴重な取り組みに感謝申し上げます。豊かな自然と文化に触れる体験が、地域の活性化と伝統継承に大きく寄与することを期待しております。

まほろば円舞会子ども部『未来に活躍する子が育つプロジェクト』

特定非営利活動法人 まほろば円舞会

実施目的

まほろば円舞会こども部を作り、子ども達がダンスの世界を楽しみながら成長で
きるような環境を提供することを目的とする。

実施内容

レッスンは、せせらぎ小ホールで毎週日曜日 12 時～14 時（場合によっては 14 時 30 分から 17 時
まで）年齢レベルや習熟度によってきめ細かく指導。

10 月 6 日・なら 100 年会館大ホールの、まほろば円舞会のステージを目標にレッスンを実施。

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

生駒市南コミュニティーセンター、せせらぎ小ホール及び大ホール&研修室

なら 100 年会館大ホール&生駒市北コミュニティーはばたき小ホール

<対象>

奈良県地域の保育園幼稚園児、小学生、高校生

<スケジュール>

2024年4月7日レッスン開始

以降毎週日曜日午後セットにて、こども部（レッスン内容によっては大人のダンス部と合同でレッスン）

8月3日 生駒市コミュニティーセンター大ホール・どんどこ祭りステージに参加

9月29日 生駒市自主学習フェスタたけまる大ホールステージに参加

10月6日 「2025まほろば円舞会」・なら100年会館大ホールステージに参加

10月14日 パルツァー事業部・なら100年会館大ホールステージに参加

11月17日 エーティーエム建築感謝祭・奈良ロイヤルホテルステージに参加

12月1日 奈良市ボランティアセンター「はぐはぐ祭り」ステージに参加

12月21日 生駒市せせらぎ大ホール・施設管理者吉本興業の主催の大助&花子
クリスマスイベントに招待されて、ステージに参加

2月9日 生駒市ららぽーと主催の、らら祭り

事業の様子



実施効果

高学年の姿を見て低学年の子どもたちが見よう見まねで覚えて上達し
ていき、8・9月の生駒市のイベントに参加。

10 月まほろば円舞会の、なら 100 年会館大ホールのビッグイベント
「2024まほろば円舞会」約 1000 人の大勢のお客様の前でレベルの
高いダンスを披露し、子どもたちにとっての感動は忘れられない経験とな
った。

12 月の吉本興業の大助&花子クリスマスイベントに招待されて、生駒
市せせらぎ大ホール、クリスマスのコラボ「クリスマス 歌とダンスのステ
ージ」に参加。

事業総額：
207,225円

補助金額：
100,000円

団体名：

特定非営利活動法人
まほろば円舞会

所在地：

生駒市壱分町628-44

代表者：

理事長 上垣 明

設立の目的：

この法人は、奈良県に住む
人々及び観光で奈良を訪れ
る人々に対し、奈良の歴史
的・文化的な国際交流では
ぐくまれた東洋・天平の美と
華やかな西洋の美を融合さ
せた、子どもから障がい者や
大人まで世代を超えた市民
参加の舞の祭典である“まほ
ろば円舞会”の開催を通じ、
古都奈良から新しい文化を
世界に発信することにより、
観光交流の推進、人々の健
康で豊かな生活の増進、地
域の活性化に寄与することを
目的とする。

ひとこと

子ども達がダンスを通じて成長し、多
くの舞台で表現する機会を得られたこ
とは大変意義深い取り組みであったと
存じます。今後も地域文化の振興や子
ども達の健やかな育成に繋がる活動
が継続されることを期待いたします。

国際理解のつどい「外国の学校の様子を体験したり、文化について考えたりしてみよう」

一般社団法人 ガールスカウト奈良県連盟

実施目的

学校教育にも外国語が教科として位置づけられるようになり、子どもたちの生活には避けて通ることのできない英語をより身近に感じ、外国に親しみコミュニケーションに意欲を持つことを目的として実施する。

中高生においては、日本の文化を理解した上で、海外の文化や考え方の違いに目を向け、よりグローバルな多様性のある社会人としての基礎を学ぶ機会となるよう実施する。

実施内容

午前の部（就学前1年幼児～少額6年生）

英語でソング&ゲーム、外国人講師のプレゼン、中国のゲーム、ポーランドのペアダンス、英語でバレンタインカード作り、韓国の折紙、インドネシアアート作品作り

午後の部（中高生）

海外派遣報告、海外インターンシップ報告、外国人講師のプレゼン、中国語の切り紙クラフト、各国の言語でバレンタインカード作り、外国人講師へインタビュー

<期間>

令和6年4月1日～令和7年3月30日

<場所>

いかるがホール

<対象>

就学前1年幼児、小学1年～6年生、中学生、高校生、成人

<スケジュール>

10月13日 会場下見、レンタル資材の手配

11月内にて、外国人講師の派遣依頼

12月18日 要項配布、募集開始

1月19日 外国人講師とのミーティング

1月20日 外国人講師とのミーティング

1月23日 外国人講師とのミーティング

1月24日 委員会プログラムミーティング

1月30日 プレゼンの確認

2月4日 運営委員会 最終打ち合わせ

事業総額：
207,727円

補助金額：
100,000円

団体名：

一般社団法人

ガールスカウト奈良県連盟

所在地：

橿原市城殿町459

代表者：

連盟長 戸尾 之子

設立の目的：

奉仕活動、野外活動、海外派遣、平和提唱プロジェクトなど様々な活動を展開し、「少女と若い女性が責任ある世界市民として自ら考え行動できる人となる」ことを目的とする。

事業の様子



実施効果

外国人講師より各国の学校についての話を聞き、日本との教育や宗教、生活の違いを身近に感じる事ができた。ゲームやダンスを通じて文化に触れ、講師と積極的にコミュニケーションをとることができた。午後の部では、参加者自ら質問し、母国を離れて生活する難しさや学びについてインタビューを行った。中高生はグローバルな視野を広げ、将来の可能性を感じる良い機会になった。

ひとこと

子ども達が外国の学校や文化に触れ、英語への親しみや異文化理解を深める大変意義ある事業であったと存じます。今後も引き続き貴重な学びの場の提供を期待しております。

行滞り、不登校等の親子の居場所づくり及び、相談事業

不登校等の親の会いなほ

実施目的

養育者が、不登校等のお子さんを育てるにあたり孤立しがちになる、孤独にすることで、虐待に繋がるケース、親子関係の不和、夫婦関係の悪化につながる。そういったことから、孤立を防ぐために、情報の共有や養育者の悩みが軽減されるよう養育者の居場所づくりを行い、不登校等のお子さんとの関わりや家族を良好にすることにつながることを目的とする。

実施内容

※毎月テーマが変わります

「学校に行きたくないっていったらどうしますか？」講師：教育総合センター臨床心理士さん

「不登校の子育て奮闘記」講師：元不登校児の子育て経験を持つ、有資格者のママ（心理カウンセラー、発達障害支援員、不登校児支援員、保育士）

「個人的な相談及び、情報共有の場」

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

天理市教育総合センター

<対象>

奈良県内の小中学生の行滞り、不登校等のお子さんを持つ保護者、学びたい方

<スケジュール>

5月：役員会議、天理市民だよりに毎月開催の広報を掲載、チラシの後援名義依頼、Instagram、公式ラインを作成、情報発信を行う。

6月：天理市内小学校校長との面談（不登校等の親の会いなほの啓発を兼ねる）

7月：講師に、元不登校児の男性保育士に依頼し、講座を開催。

9～3月事業を開催する。

2月：役員会を開催し、次年度の運営について話し合いを行う。

3月：役員会議を開催し、次年度に向けて反省会を開催。

事業総額：
101,871円

補助金額：
100,000円

団体名：

不登校等の親の会いなほ

所在地：

天理市西長柄町477-2

代表者：

代表 矢田 紫真子

設立の目的：

不登校の子どもをもつ保護者同士で共感、情報を共有することで子どもに寄り添うエネルギーを蓄えてもらうことを目的とする

事業の様子



実施効果

天理市の学校関係者や行政に事業を説明し理解を深めた。SNS 発信で近隣からも参加があり、不登校の親同士が悩みを共有できる場を提供。実際に不登校を克服し学校へ通い始める子どもも現れている。関連団体との連携も進めており、今後も活動を充実させる予定。

ひとこと

不登校や行き滞りの親子を支える居場所作りと相談事業は養育者の孤立を防ぎ、親子関係の改善に大きく寄与する大変意義ある取り組みであったかと存じます。今後も地域の子ども達とその家族に対する安らぎの場の提供者として活動に取り組まれることを期待します。

こども自然体験学習（ひまわりキャンプ）

特定非営利活動法人 おひさまひろば

実施目的

子どもたちに自然体験の機会を提供し、「非認知能力」等の様々な力を育む機会の一部になることを目的とする。また、当法人の新事業所を周知し、地域の活性化や今後の発展につながることを目的としている。

実施内容

小中学生を募集し、当法人が桜井市下居に構える新事業所で、親元を離れ1泊2日の自然体験を2回開催。開催場所が自分たちの場所という自由度が高い環境で、子どもたちの「非認知能力」を育む活動を考え、実施していく。

<期間>

2024年5月1日～2025年3月31日

<場所>

桜井市下居（当法人新事業所）とその周辺

<対象>

小学生・中学生

<スケジュール>

- 2024年5月 スタッフ・学生ボランティア随時募集
活動内容の検討・チラシの作成
- 2024年7月 参加者の募集開始
参加者への説明会実施
- 2024年8月 第1回ひまわりキャンプの開催
スタッフ：3人 ボランティア：5人
- 2025年2月 参加者の募集開始
参加者への説明会実施
- 2025年3月 第2回ひまわりキャンプの開催
スタッフ：3人 ボランティア：5人

事業の様子



実施効果

新事業所で初めて実施したひまわりキャンプは、子どもや保護者に好評で、新事業所の魅力を伝える有意義な活動となった。自然を活かした川遊びや流しそうめん、手作りピザ窯での体験など、自由度の高い活動ができ、子どもたちも積極的に参加し、目的にもある「非認知能力」を育むための活動ができたように思う。

しかし、自分たちのフィールドでキャンプを作り上げることの難しさもあり、事前準備や片付けなど、今後活動していく中でさらに人手が必要であるという課題も見えた。

事業総額：
127,226円補助金額：
100,000円

団体名：

特定非営利活動法人
おひさまひろば

所在地：

奈良県桜井市
河西 239-6

代表者：

理事長 太地 久恵

設立の目的：

子育て支援・障がい児支援事業、安心して子育てができる環境づくり、親子の良質な関係を築ける家庭づくり、子どもが安心して遊べ、学べる地域社会づくり、世代間交流活動で地域の人々の世代を超えたネットワークづくりを推進し、地域社会・地域福祉に寄与することを目的とする。

ひとこと

子ども達が自然の中で多様な体験を通じて非認知能力を育み、地域の活性化にも寄与する大変意義のある事業であったと存じます。今後も子ども達の健やかな成長促進に繋がる活動の継続を期待いたします。

山のようにオープンディ

特定非営利活動法人 いこま山の子会

実施目的

幼児期に自然の中で体の動きを覚え、非認知能力をはぐくむ自然教育の重要性が注目されている。しかし、実際に自然経験の少ない保護者が我が子を自然の中に連れ出して遊ぶことはとてもハードルが高い。その一歩を手助けできるよう、いこま山のようにちえんではどのように遊んでいるかを体感し、親子共に「自然の中で遊びたい!」と思える機会を提供することを目的とする。

実施内容

年10回開催。「いこま山のようにちえん」の活動を地域の未就園児親子が参加できるオープンディとし、自然の中で遊ぶ体験をしてもらう。

※9時40分から11時40分、お昼寝等の時間に重ならないように設定

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

生駒市 滝寺公園

<対象>

未就園児親子

<スケジュール>

- ・令和6年4月 SNS、チラシによる広報活動スタート
- 5月17日、6月21日、7月19日、8月23日、10月18日、11月15日、12月20日、1月17日、2月21日の9回の開催。
- ・令和7年3月12日 会議 活動の振り返りと翌年度の事業継続について

事業の様子



事業総額：
100,103円

補助金額：
100,000円

団体名：

特定非営利活動法人
いこま山の子会

所在地：

生駒市山崎新町1-40

代表者：

代表理事 紀村 典子

設立の目的：

子どもや青少年、及びその保護者、関係者に対して、自由保育、自由教育に関する事業を行い、すべての人が自分らしく生きられる社会づくりに寄与することを目的とする。

実施効果

9回の開催で延べ42人（大人19名・子ども23名）が参加。4月は周知不足で開催出来なかったが、多くの参加者は生駒山の自然豊かな環境に驚き、子どもたちは「いこま山のようにちえん」の子どもたちと影響し合いながら遊んだ。保護者からは子どもたちが五感を使ってのびのび遊べると好評。8月は参加多数の5組で、回を重ねるごとに問い合わせ増加。今後も開催時期を検討しつつ、地域の子育て支援として継続したい。

ひとこと

自然の中で親子が遊び、子ども達の五感を育む大変意義のある事業であったかと存じます。今後も地域の子供達にとって安らぎの成長の場の提供者として取り組まれることを期待いたします。

不登校の子ども達に向けた季節を感じる和のワークショップでの支援

子ども和体験 Nara いたい

実施目的

不登校の子ども達や親子を対象に、年に10回程度季節に合わせた和のワークショップをすることで、外との関わりが少なかった子ども達に今しか出来ない体験をしてもらうことを目的とする。

ワークショップという体験しやすい場所から外とかかわるきっかけ、またチラシ設置によって情報発信の場となることを目指す。

実施内容

年12回、古民家フリースペース和にて、不登校児と親に向けた季節を感じるワークショップを開催。

県内の不登校児支援団体の紹介チラシを設置。

8月より保護者に向けたオトナお茶会を開催

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

コミュニティスペース 和（磯城郡田原本町三輪町449-1）

<対象>

不登校の子ども、親、その他親子

<スケジュール>

2024年4月初旬 打ち合わせ・年間行事予定作成、チラシ作成、参加者募集

2024年4月24日 母の日：ハーバリウムボールペン作り

2024年5月23日 竹の器で作る寄せ植え体験

2024年6月27日 浴衣を着て抹茶点で体験

2024年7月26日、9月26日 古武道+姿勢矯正体験

2024年10月24日 季節の香りとアロマカード

2024年11月28日 折花で作るXmas ツリー

2024年12月19日 ハンマーダルシマーとミニハーブ体験・コンサート

2024年12月26日 餅つきとしめ縄作り体験

2024年1月23日 着物を着て抹茶点で体験

2024年2月27日 飾り巻き寿司作り

2024年3月16日 不登校の体験談と縁日

事業の様子



実施効果

年間12回、親子参加型のワークショップを実施。対話型や季節を感じられる内容、不登校の親子に必要と思われるテーマを選び、参加者は好きな回を選べた。初体験に挑戦する子どもも多く、少しずつ自信をつけていく姿が見られた。親が一緒にいることで子どもが安心して参加でき、親子で楽しむ様子も多く見られた。

また、不登校に関心を持つ多様な人々が訪れ、活動を通して地域の関心や繋がりが広がっていると感じた。

事業総額：
103,474円

補助金額：
100,000円

団体名：

子ども和体験 Nara いたい

所在地：

磯城郡田原本町秦庄
284-1

代表者：

代表者 永田 瑞穂

設立の目的：

日本の文化・伝統を継承または復活し、郷土愛と共に次世代へと繋ぐため、教室、遊び、ワークショップなど、受け入れやすい形でつたえることを目的とする。

ひとこと

季節を感じる和のワークショップを通じて、不登校の子ども達や親子が安心して参加できる場となったかと存じます。今後も地域の子ども達と家族にとって安らぎと成長の場を創り続けていかれることを期待しております。